



MeetingTime のインストール

この付録では、MeetingTime を組織全体にインストールし、展開するための戦略について説明します。この付録は、次の項で構成されています。

- [MeetingTime について \(P.A-2\)](#)
- [MeetingTime のシステム要件 \(P.A-2\)](#)
- [MeetingTime のインストール \(P.A-2\)](#)
- [MeetingTime の設定の編集と保存 \(P.A-3\)](#)

MeetingTime について

MeetingTime は、Cisco MeetingPlace Audio Server システムにアクセスし、設定するためのデスクトップアプリケーションで、エンドユーザ、連絡先、出席者、システム管理者を含むすべての種類のユーザを対象としています。システム管理者は、システムの管理および保守を行うために、MeetingTime のコピーが必要です。

さらに、ヘルプデスクの担当者、部門管理者、有資格エンドユーザなど、他のユーザのために MeetingTime を展開することもできます。

MeetingTime ソフトウェアは、デスクトップコンピュータ上で実行します。TCP/IP（業界標準のネットワークングプロトコル）を使用し、LAN または WAN 経由で Cisco MeetingPlace と通信します。直感的なグラフィカル ユーザ インターフェイスを使用し、電話機では利用できない高度な Cisco MeetingPlace 機能にアクセスできます。

Cisco MeetingPlace システムには、5 つの MeetingTime ライセンスが含まれています。システム管理者は、MeetingTime を使用して、この章の後で説明するシステムの設定、レポートの実行、キャパシティの監視、日常的なシステム管理機能の実行を行います。

また、組織のヘルプデスク部門は、MeetingTime を使用して、エンドユーザの問題の処理、会議の監視、セッション中の機能の制御ができます。システム管理者による MeetingTime の使用の詳細については、P.2-2 の「システム管理者の責任範囲」を参照してください。

MeetingTime のシステム要件

MeetingTime は、適切に設定された Windows コンピュータで実行する必要があります。MeetingTime を実行するために必要なハードウェアおよびソフトウェアの最小システム要件は、次のとおりです。

- 350 MHz 以上の Pentium 2（Windows 2000 の場合）
- 16 MB の RAM（Windows NT の場合は 24 MB、Windows 2000 の場合は 256 MB の RAM）
- 15 MB のディスクの空き領域
- CD/DVD ドライブ
- 標準 VGA モニタ
- ネットワーク インターフェイス カード
- Windows 95、98、NT 4.0 以降、Windows 2000、または Windows XP
- インストールされ、実行中の TCP/IP

MeetingTime のインストール



ヒント

複数のデスクトップに簡単に MeetingTime をインストールするには、インストール CD の内容を共有ネットワーク フォルダにコピーし、この場所から MeetingTime setup.exe ファイルを実行します。

ステップ 1 Windows を起動し（まだ実行していない場合）、実行中のすべてのアプリケーションを閉じます。

ウイルスチェック ソフトウェアをオフにします。

ステップ 2 MeetingTime の CD を CD/DVD ドライブに挿入します。

ステップ 3 MeetingTime の Welcome 画面が表示されたら、**Next** をクリックし、インストーラ画面の指示に従います。

MeetingTime をインストールするには、MeetingTime ライセンス契約に同意する必要があります。

ステップ 4 QuickTour（主要なエンドユーザ機能を紹介する短いアニメーション）を表示するかどうかを尋ねるプロンプトが表示されたら、いずれかを選択します。

ステップ 5 MeetingTime が正常に読み込まれたことを確認するには、自分のユーザ ID、ユーザ パスワード、および Cisco MeetingPlace のホスト名を使用して MeetingTime にログインします。

MeetingTime の設定の編集と保存

ステップ 1 MeetingTime を起動します。

ステップ 2 **Options** メニュー > **Edit Settings** を選択します。

ステップ 3 MeetingTime の Settings ダイアログボックスでオプションを選択します。

表 A-1 MeetingTime のインストール オプション


オプション	説明
Remember login information	<p>MeetingTime を使用するには、ユーザ ID、パスワード、Cisco MeetingPlace のホスト名など、ログイン情報を入力する必要があります。生産性を高めるために、ユーザは必要なログイン情報のすべてまたは一部を保存できます。</p> <p>有効なユーザ ID、パスワード、および Cisco MeetingPlace のホスト名をシステムに保存すると、MeetingTime を起動したときに、Cisco MeetingPlace の待合室でこれらの情報が設定されます。</p> <p> 注意 セキュリティ上の理由により、Settings ダイアログにはユーザ ID とホスト名だけを保存してください。ユーザはパスワードを入力するだけでログインできるようになります。</p>
Show public meetings	<p>ユーザは、自分の会議をすべてのユーザに対して表示するかどうかを選択できます。表示するには、Schedule タブを選択し、Display meeting to everyone で Yes を選択します。</p> <p>またエンドユーザは、公開会議を登録情報およびホワイトボードに表示するよう MeetingTime の Settings 画面から選択することもできます。</p>
Demonstration mode	<p>トレーニングまたはデモンストレーションの目的で、Demonstration Mode を選択して MeetingTime を表示できます。</p> <p>このオプションを選択すると、次に MeetingTime を起動したときにサンプル データと疑似接続が使用されるというメッセージが表示されます。続行するかキャンセルするかを選択します。</p>

表 A-1 MeetingTime のインストール オプション (続き)

オプション	説明
Minutes for report results	Report タブからレポートを生成するときに、特定の日付範囲でサーバに照会できます。Cisco MeetingPlace システムのサイズによっては、レポートが生成されるまで数分かかることがあります。 サーバから結果が返る前にシステムがタイムアウトにならないように、結果を待つ時間を分で指定できます。

ステップ 4 設定を適用するには、**Save** をクリックします。

ステップ 5 MeetingTime が終了し、再起動します。